

彫刻：蝕まれた ト・ル・ソ

兼 原 啓 二*

Sculpture: Eroded to·ru·so

Keiji KANEHARA



「蝕まれた ト・ル・ソ」 兼原 啓二

第66回 長崎県美術展（2021年） 西望平和賞 長崎県美術館
H61cm×W49cm×D32cm 楠・火・水性塗料・砥の粉

トルソとは、胴体という意味で解される。この作品では、胴体と頭・脚の部分を含めて3部構成としている。胴体の塊の中央辺りで切断内割りし、上下を接着している。ミクロの世界、肉眼の世界、遠くからの世界を同じ次元に形として表し、この作品に表出させた。ミクロの見えない世界と同様の病魔が体を蝕み、肉眼で見た時は時遅し。その肉体は、遠くへ行ってしまふ。そのようなならないよう行動を戒めることを含め、メッセージを込めた。

